

事業所防災リーダー通信 2025 Vol.22

事業所防災リーダーのみなさまへ、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



その時どう動く？発災直後の初動態勢を整えよう

災害が起きた直後の初動対応が重要です。

従業員が一致団結して、素早く対応するためにどのような態勢で

従業員同士が連携し合うか想定しておきましょう。



Guideline

災害が起きた時の態勢を5W1H

「誰が、いつ、どこで、何を、なぜ、どのように」の観点で考えてみましょう。

WHEN

いつ（時間）

災害はいつ発生するか分かりません。就業中や就業外、夜間などあらゆるタイミングについて態勢を想定しておきましょう。

WHERE

どこで（場所）

発災時には、オフィスや店舗の部屋を普段とは違う用途で使うこともあります。

情報の集約や指示を行う「本部」を設けることが有効です。

どの場所に設置するか複数決めておきましょう。

WHO

誰が・何を（役割）

まず、どのような役割が必要か洗い出した上で、誰にどの役割を任せるか確認しておきましょう。

ただし、外出などで役割を任せられた人が居ないことも考えられます。

役割決めは臨機応変に変えられる柔軟さも必要です。

WHY

なぜ（理由）

リーダーが意図した通りに役割を遂行してもらうことも重要です。

「その役割がなぜあるのか」「その行動はなぜするのか」それぞれの理由も併せて伝えておきましょう。

HOW

どのように（方法・手段）

非常用設備など普段とは違う設備を使うこともあるかもしれません。

それぞれの役割で使うものについては、災害時に活用できるように

方法や手段を確認しておきましょう。

※出典元
「東京事業所防災実践マニュアル」P82～P85
「1.発災時の態勢を整えるべし」より



◀東京事業所防災実践
マニュアルはこちら

東京都からのお知らせ

東京都では、発災時、帰宅困難になった場合に、リアルタイムで一時滞在施設の検索や開設状況、移動経路などの情報を表示できる「東京都帰宅困難者対策オペレーションシステム（通称:キタコンDX）」の運用を、昨年の4月から本格稼働しています。発災時にみなさんの身を守るためにもぜひご登録ください。

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/topics/1000019/1029124/1030473.html>

LINE友達登録

